

監修:

財団法人日本進路指導協会 理事 高野安弘

元全国中学校進路指導連絡協議会 会長

社会教育ビデオ 中学生・保護者向け DVD 約22分

親子で考えよう 中学生からの進路



中学生の進路学習って、どんなもの？



企画意図

子どもから大人へと成長する過程にある中学生。将来の進路が形成されつつある大事な時期です。子どもたちが夢や希望をいだいて、将来の生き方や進路に関する体験を得たり、情報の活用をはかることが大切です。そんな中学校の進路学習について、家庭内でも確認し、考えてみるのが不可欠となっています。

そこで、この作品では、中学校3年間を通して行われる進路学習(1年生では職場訪問、2年生では職場体験、3年生では高校入試対策)について、中学生のさやかとその母親の会話を通して見ていきます。

自分の将来は誰かが決めてくれるわけではなく、自分の意志と責任で選択していくものであることを、子ども自身に気付かせていく内容となっています。

映学社作品

中学生のさやかさんとお母さんが、こんな会話を交わしています。

「さやかは中学3年生だけど自分の将来について考えている？」

「うん、学校で自分の夢や将来の目標について考える授業があって、そこで色々考えたの。」

「そう、それは素敵。自分の将来は自分で見つけていくものだと思うわ。」

2人の会話を通して、ある中学校で行われる進路学習について見ていきましょう。

① 中学1年生の進路学習 ～職場訪問

中学1年生時では、まずは自分の将来の計画を作ることが大切です。ある中学校で行われた、自分を知る作業の様子を見ていきます。自分の得意なものや性格など、色々な側面を箇条書きにし、友だちと意見交換を行います。このようにして、自分では気づかない点を知るための様々なアプローチを行っていきます。

次に、職場訪問です。班ごとに訪問先への行き方や、訪問先で尋ねることなどを確認します。

訪問当日、担当者へ質問を投げかけると、それに対して担当者は丁寧に答えてくれます。

職場訪問は生徒たちにとって、社会にはどのような仕事があり、どのように人が働いているのか知ることができる、社会に一步踏み込む貴重な体験となるのです。

② 中学2年生の進路学習 ～職場体験

2年生になると、いよいよ職場体験によって実際に仕事を体験してみます。

生徒たちは職場を事前に訪れて、十分に打ち合わせをします。念入りの準備が、職場体験をかけたえのないものとなります。

生徒たちは職場の担当者に指導されて仕事を

始めます。うまくいかないことも通して、どの生徒も学校だけでは経験できない仕事の厳しさを感じていきます。生徒たちは学校へ帰ると、この5日間の体験で学んだことを整理してまとめます。体験を自分の力とするための大切な作業です。

体験を通して、生徒たちは人と関わり合うことの大切さや、さらに、社会人として必要な、身だしなみや、言葉遣い、時間管理の大切さなどを身をもって学ぶことができました。これらの経験を活かして3年生の進路選択に結び付けていくことが、とても大切です。

③ 中学3年生の進路学習 ～高校入試

3年生では、上級学校への進学について考えていきます。各学校の説明会や、オープンキャンパス、学校見学に参加したり、掲示板、インターネットで志望校を調べたり、先輩たちの意見を聞いたりすることが大事です。

進学を希望する学校の入試方法も調べます。志望理由書や自己PR書を書くことを通して、もう一度、志望校の校風や教科や部活動などを確かめ、その学校で学びたいという意欲を高めます。

高校入試の面接では、中学校での体験や高校生生活への意欲が試されます。中学3年では面接の仕方にも練習します。

将来を見据えて学ぶ意欲や熱意は、にわか勉強では身につけません。それは中学校3年間の充実した生活の集大成とも言えるものです。

自分の歩みに迷いがないように、あるいは迷っても頼れる指針があるように、3年間をかけて将来設計や進路計画を立てていくこと。

これが中学校の進路学習なのです。

監修 財団法人日本進路指導協会 理事 高野安弘
元全国中学校進路指導連絡協議会 会長

企画・制作統括 高木裕己

制作・著作 株式会社 映学社

DVD [カラー・約22分] / 2012年・映学社作品

● 価格

ライブラリー価格 ￥ 55,000 (本体価格)

学校価格 (中学校のみ) ￥ 25,000 (本体価格)

●お問い合わせ、お買い上げは……

(株) オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101